

# 英語を楽しく

No.107  
27, April



「～を」



☆ 英語の文は3文型でほとんどOK

英語の3文型=中学校で習った記憶 S+V+O 主語+動詞+目的語

① I know him.  
主語 動詞 目的語



② I know that he is good at English. 彼が英語が得意である  
主語 動詞 (接続詞) 下線は節で、目的格ともいえる ことを

③ I know who he is. 彼が誰かを  
主語 動詞 疑問詞 主語 動詞



④ He told she would marry Jimmy.  
主語 動詞 目的語  
( 3 文型 )

3文型の中に 3文型



日常生活の範囲の英語は3文型のものが多いと思います。と言いますのは、「～が(は) — する(した)。(疑問文では「～が(は) — する?」という言い方になります)は、日本語でもよく使われることから想像できると思います。ですからこの3文型に自分の言いたいことを当てはめて英語を話せばいいのです。

One of the students won two Gold medals.  
主語 動詞 目的語

上の文は、「生徒の一人が二つの金メダルをとった。」

ですがこれをさらに詳しく表現するとなると 1例として下のようになりますが ----- や ----- は、なければ会話が出来ないのではありませんし、会話の相手がもし「どの先生の生徒が?」と聞いたら students Mr Shiratori taught とでも答えればいいのです。

詳しく言い過ぎると、話し合うことがなくなるので、会話が成立しないのです。

One of the students in this class whom Mr Shiratori was teaching to P. E  
won two Gold medals of the fencing match in Olympic.

白鳥先生が 体育を教えているこの組の生徒の一人が オリンピックのフェンシングの試合で二つの金メダルを勝ち取った。(これでは会話でなくなってしまいますね。)

※ P. E (体育)

P.E., PE (略) <physical education  
(体育)

Yoshi